

11月の園だより

【園長のことば】

平成 28 年度 竜光保育園 第 618 号

先月は、いっきに冷え込んだかと思うと夏の蒸し暑さが突然もどったりと、まさに目まぐるしく変わる気候でした。園内での感染症等も増えています。体調にはとくにご留意いただきたいと存じます。

さて、みなさんは赤ちゃんの「おむつ替え」の際にどのような心持ちで臨んでいた、または今現在いるでしょうか。「時間をかけずに手際よく…」と考え、黙々とされている方も多いのではないのでしょうか。しかし、そのおむつ替えも、《言葉かけ》や《言い聞かせ》1つで赤ちゃんの心とふれあう絶好のチャンスとなります。赤ちゃんは「言葉はわからないから…」と決して決めつけないことです。いきなり無言で脱がせるのではなく、まず「おしっこ出てるね、気持ち悪いね、今から替えようね♪」と予告します。そして、おむつ替えが終わると、「気持ちよくなったね♡」と語りかけ、ハグしてあげます。これを繰り返すことにより、2歳頃までの、約6千回ともいわれるおむつ交換の場が、濃密なコミュニケーションの場と変わっていくばかりでなく、子どもの「ママに協力しよう!」という思いも芽生え、学習能力の向上や成長を促す効果もあると聞きます。赤ちゃんは私たち大人が想像している以上に多くのものを感じ取っていて、私たちが《和顔愛語(わけんあいご)》の心持ちで見ても語りかけたら必ずわかってくれるはずです。

子育ては保護者や保育士が1人で行うものではなく、発達過程に応じて子どもと協働し、いずれは子どもが自立して行えるようになることを見通して関わっていくことが肝要です。おむつ替えひとつにおいても、子どもとの気持ちの交流がなされ、それまでのつらい、きついと感じていたばかりの子育てが、楽しみの場へと少しずつ変わっていくことができると信じています。

11月の行事予定

- 1日(火) 体操教室
- 2日(水) 焼き芋会
- 10日(木) 誕生会
- 14日(月) 身体測定
- 15日(火) 生活発表会リハーサル
- 16日(水)
- 26日(土) 生活発表会
- 29日(火) 体操教室
- 中旬 勤労感謝の日訪問(以上児)
(郵便局・駐在所・農協・美咲ヶ丘)
- 下旬 避難訓練
- ☆12月18日(日)北九州幼児音楽祭

《～この花知ってる?～vol.7》

椿(つばき)



日本原産で11月の人気花「ツバキ」は、光沢があり硬い質感の肉厚で大きな深緑色の葉が特徴で、ツバキの種から抽出位される油は「ツバキ油」として整髪剤などに試用されたりしています。園庭のピンクのツバキの開花ももうすぐですよ!

《ひよこ 菜園での芋ほり》



東谷フェスタ展示作品



“楽しい地図”



パズル形式で楽しく学んでいますよ!

おすすめ絵本のコーナー

『プーさんとであった日 世界でいちばん ゆうめいなクマのほんとうにあったお話』 文: リンジー・マティック

絵: ソフィー・ブラッコール 訳: 山口 文生 出版社: 評論社

世界中で愛されている「クマのプーさん」が実在していたのは御存知でしたか? 第一次大戦に向かう途中のカナダの獣医師が出あい、軍隊のマスコットになっていたクマがその後海を越え、イギリスへ…。1つの別れが新たな物語を紡いでいきます。

本年度、米国の優れた絵本に贈られるコールデコット賞に輝いた作品です。

『十二支のはじまり』 文・絵: いもようこ 出版社: 金の星社

“なぜネズミが一番なの?なぜネコが入っていないの?” そんな十二支の由来やナゾを、いつも動物や人物などをやさしいタッチで描いているいもようこさんが、わかりやすく表現しています。お話しの最後、ちょっぴりネコさんがかわいそうに思えますよ。

